

国語科学習指導案

実施日 平成23年1月19日

実施クラス 1年1組

授業者 水野直子

1 指導単元

「開進第一中学校推薦図書（平成22年度版）」の作成

2 単元設定の理由

本校では、1学年生徒による推薦図書の冊子作成は毎年行われており、先輩の作品を見せると早速意欲を見せる生徒も多かった。本の情報を交換しあい、自分達の手で推薦図書を選定し、紹介文を書くことは、実際の読書生活に役立ち、学び合いの場面を作ると共に、思いを伝え合う言葉の力を鍛える学習になると考えた。

3 単元の指導目標（括弧内は新学習指導要領による）

ふさわしい本を推薦して「開進第一中学校推薦図書」を作成するため、本の情報を交流し合い、本の紹介について助言し合いながら冊子を作り、読書への関心を一層高める。

【新学習指導要領との関連】

- ・読んだ本から紹介に必要な事柄をまとめたり引用したりする。
(第1学年 C読むこと(1)カ 言語活動(2)ウ)
- ・紹介文を読みあい助言し合い、読みやすくわかりやすい文にする。
(第1学年 B書くこと(1)ウ 言語活動(2)ウ)

4 単元の指導計画（5時間扱い）

時	学習活動	指導上の留意点	評価の観点○「読む」●「書く」
事前準備	・ 昨年の冊子を参考に推薦する本の候補を考える。	・ 何冊推薦しても良い。	○意欲的に推薦をしたい本をメモしている。
1	・ 単元の学習目標、学習内容を知る。 ・ プリントから「推薦したい本」を選ぶ。 ・ 本の担当を決める。	・ これから読みたい本を含めて、15冊以上選ばせる。 ・ 放課後国語係が集計をし、一人の作家の作品が3作以上にならないように60冊に調整する。 ・ 60冊のリストから読みたい本の希望をとり、調整しておく。	
2	・ 紹介文の内容の説明を聞く。紹介文の下書き用紙を受け取る。	・ 原案を聞いてから変更したい者は変更させる。（価格と図書室にあるかどうかを伝える。同じ本が重ならないようにする。） ・ 引用、キャッチコピー、紹介文を書くときの注意をする。	
冬休み中に担当の本を読み、紹介文を完成する。			
3	・ 推敲の方法や内容についての説明を聞く。 ・ 推敲グループを決める。	・ 推敲の記号、中学生が間違いやすいことなどを説明する。 ・ 良くかけている表現を探すこと、読んでわからなかったところをわかるように協力して直すためにやることを強調する。	
4 本時	・ 推敲の仕方の確認。 ・ グループで紹介文を推敲しあう。	・ 間違いだけでなく、思いが伝わる紹介文、上手なキャッチコピーなども指摘させる。	
5	・ ワードプロソフトで原稿を清書する。	・ 予め枠を入れたなかに原稿を打ち込ませる。	

＊この後、冊子を完成し、読みたい本を選び、読書（授業以外）。読書紹介スピーチ単元を学年末に行う。

5 単元の評価

(1) B評価

- ・ 読んだことを活かし思いを伝える本の紹介文を書き、推敲を加えてより良い文章にしている。

(2) 支援を必要とする生徒（C評価）への手だて

- ・ 同じグループの人からの助言をもとに直す必要のある箇所を知り、文章をよりよくさせる。

6 授業改善のポイント

(1) 研究主題との関わり

読書は個人個人の体験だが、一人ひとりが発信者となるこの単位では、魅力を伝えるという視点から、お互いの紹介文を読みあい、良い原稿を作るための学び合いの場を自然の流れで作ることができる。

(2) 授業評価の結果分析をふまえての改善のポイント

授業評価の設問の中で「発言したり質問したりしましたか」の回答が設問中最も低かった。3～4人のグループでは、発言しやすい雰囲気になる生徒達なので、グループで学び合う場を作り、積極的に発言させる。

(3) 学力調査の結果分析をふまえての改善のポイント

学力テストでの「書く」の結果は悪くなかったが、紹介に必要なポイントを押さえて400字でまとめて書くこと、書いた文章を練り直すことを通してさらに書く力を向上させる。

(4) 「言語活動の充実」の観点から

読書をして得たことを、紹介文をとおして発信することによって言語活動を充実したものにできる。また交流をとおして推敲することで、言語活動の幅を広げていく。

7 本時の授業

(1) 本時のねらい

	学 習 内 容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
導 入	・ 紹介文の作成の留意点を確認する。	・ 推敲の練習を例文で行わせる。	・ 紹介文の留意事項を思い出す。	・ 板書する。
展 開	・ 4人グループに分かれ、推敲する。	・ 直し方の案を出しあわせる。	・ 直したほうがよい箇所には適切な表現を考える。	・ 司会進行役は話し合いが円滑に進むように配慮する。
ま と め	・ 推敲した箇所や気づいた点、良いところを出し合う。	・ 班ごとに司会者が発表させる。	・ 発表を聞き、自分の推敲すべき箇所の参考にする。	・ 本の魅力を伝える効果的表現に目を向けさせる。
	・ 推敲を生かし清書をする。	・ 推敲後の下書きを提出させる。	・ 終わらなければ家庭学習にする。	＊適切に推敲している。… B

8 本時の板書計画

推薦図書 紹介文の推敲	内容のポイント ・ あらすじ ・ 引用 ・ キャッチコピー	感動・発見 テーマ 心に響く言葉	表現を直す ・ 誤字、脱字 ・ 主語述語の統一 ・ 段落 ・ 文のねじれ
----------------	--	------------------------	--

9 授業を終えて

読書の単位の中で「読むこと」を目標とした授業、例えばキャッチコピーを題材に授業をしていくと単位全体の目標と一致するということを実感した。